

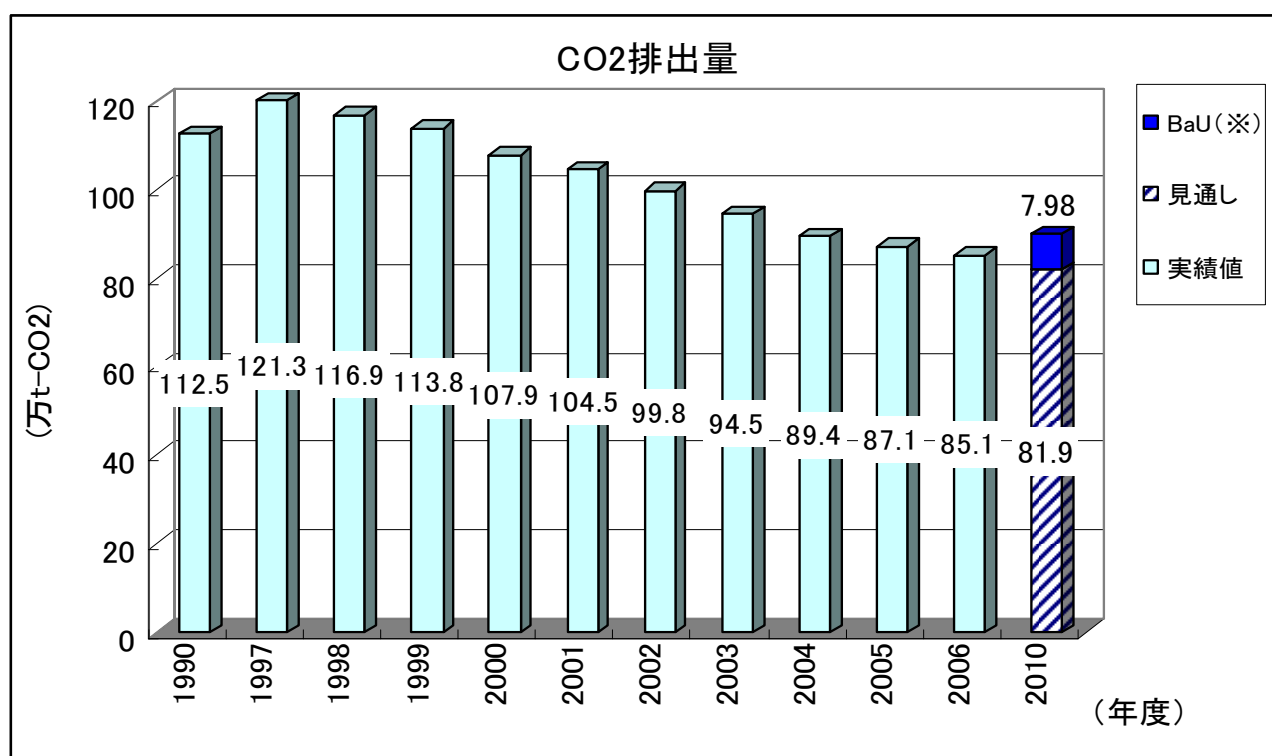
ビール業界のCO2 排出量削減の取り組みについて

ビール酒造組合

- ①1996年、経団連の環境自主行動計画のスタートと同時に、ビール業界はこの環境自主行動計画へ参画した。
- ②1997年12月に京都議定書が議決されたが、その中の日本の目標値である1990年度比6%減をビール業界の削減目標とした。

目標：2010年度のビール工場における発泡性酒類（ビール類）生産時のCO2排出量を1990年度比で6%削減する。（この目標は2008年度から2012年度の5年間の平均値として達成するものとする。）

- ③各社は環境関連への設備投資を前倒しで実施することで、省エネルギーの施策・活動に積極的に取り組みCO2削減の努力を続けてきた。
- ④その結果、CO2排出量の推移・実績は次のグラフの通りとなり、ビール5社のCO2排出量は、1990年度は112.5万tであったが、ビール各社のCO2排出原単位削減への努力が寄与し、2006年度では85.1万t(=1990年度比 **24.4% 削減**)の大幅削減となった。
- ⑤大幅削減となった理由は、各社の省エネルギー・エネルギー転換などの施策推進によるCO2排出原単位の低下が最も寄与したと考える。



※注：BaU……対策を取らなかった場合の予測値のこと。(Business as Usual の略)